

12月議会の一般質問

議員名	質問事項
吉田 充宏	▼三世同居▼空き家対策と活用▼原子力科学・原子力エネルギーと地域社会が調和したまち▼東海駅五反田線の地権者説明会
江田 五六	▼27年度予算編成にあたっての基本的な考え方▼(仮称)東海村農業推進基本計画▼新しい発想による農業公社が必要
川崎 和典	▼学校給食の地場産品増加策▼村道の生活道路の舗装化▼幼児、高齢化に対応する歩道拡幅策
舛井 文夫	▼合併についての村の基本的見解▼平成27年度予算の編成方針と重点政策▼東海第二30キロ圏市町村中心の統一組織▼第5次総合後期計画▼区画整理事業の清算手続き▼東海駅西口の駅前広場▼名誉村民▼東海村発足60周年記念事業▼常陸那珂港の後背地利用▼自治会制度▼イベント広場の確保
川崎 篤子	▼東海第二原発の再稼働許さず廃炉を求める▼原発東海発電所解体による低レベル放射性廃棄物L3管理問題▼村内の福島原発事故故での除染物の処理計画は▼米価暴落に対する村独自策を求める▼中央広域水道関係市町村の契約水量の見直し
越智 辰哉	▼幼稚園・保育所の施設整備方針▼東海発電所の廃止措置▼行財政改革と次年度予算編成▼補助団体(補助事業)の地元商工業者の活用
恵利 いつ	▼「原発事故、政府が責任を持つ」という宮沢経産大臣発言に対する村長の見解を問う▼在宅介護の支援、特に介護をしている人へのサポート体制の充実▼いじめ・不登校問題そして性的マイノリティ問題
武部 慎一	▼東海村における情報発信、受け渡し、情報公開のコンセプトは▼現在の土地、地質・地形情報等の記録管理と危険地帯土地情報公開の考え方は▼東海村における新たな公共交通の検討状況は▼「東海村まちづくり力出前講座」の運用状況と人づくりの現状は▼「社会を生き抜く力の養成事業」項目について、どう考えるのか▼東海村のインフラ整備等における長期計画作成の為にマイルストーンをどう考えるのか▼避難計画等の具現化に向けた、国道等の拡幅工事計画などの検討状況は
岡崎 悟	▼児童虐待予防と親教育▼国道245号から晴嵐の碑までの道路整備▼コミセンの安全管理対策▼がん検診と胃がんリスク検診▼子ども版安心緊急カードの活用▼携帯食糧アレルギー防災カード
大名美恵子	▼幼保連携施設の運営▼東海村介護保険在宅サービス利用料助成制度▼ゴミ袋指定化に伴う売上金の活用▼小児生活習慣病検診の新年度復活を求め▼本村の30人学級制度の継続を求めて▼東海村身体拘束廃止推進事業▼東海第二原発周辺の15市町村で構成する新たな首長会結成
相沢 一正	▼村長の政治姿勢▼東海村道路反射鏡設置要綱
植木 伸寿	▼活力あふれる地域づくり▼消費者教育の充実▼発達障がい者への支援▼通報システムとしてアプリの活用

※ を掲載



問 サイエンスタウン構想と実施内容は、乖離行政計画の中に位置付けるのは違和感がある

答

新公会 吉田 充宏 議員

議員 TOKAI原子力サイエンスタウン構想が目指す方向性で示されている「国や地方自治体の安全・防災担当職員の育成」について、原子力事業所へ派遣し、経験を積むのが一番と考えるが見解を伺う。また、TOKAI原子力サイエンスタウン構想と毎年実施している推進プロジェクトにつながりが見えづらく、構想と実施内容に乖離を強く感じる。後期基本計画の策定のスタートにあたり、実施計画の見直しについて見解を伺う。

ない中で、実施計画は構想の理念だけが入っており、総合計画という一般的な行政計画の中に位置付けるのは違和感があるが、後期基本計画は総合計画審議会へ諮問している最中で、十分議論していただくことになっている。

村長 県がJAEAへ安全管理の分野で10年ほど職員を派遣している。東海村に対して話があれば前向きに検討したい。

TOKAI原子力サイエンスタウン構想の具体的な中身が固まっている

■「TOKAI原子力サイエンスタウン構想」の理念・視点
原子力に関するサイエンスとくびりの拠点を、世界に貢献する21世紀型の新たな「COE(Center Of Excellence)」となることを目指し、併せて、このような原子力と地域社会が調和したまちづくりを推進

東海村の特徴(東海村らしさ)

- 我が国の原子力を半世紀にわたって先導(パイオニア)し、原子力利用の重さも体感(=大事故を経験)
- 原子力の研究開発を総合的に実施できる高度な人材と施設・設備が集積(世界的にも稀有)
- 多くの科学者・技術者がこの地域に終の棲家を得ており、地域社会と原子力が融合し文化が創造されつつある

第1ステージ 20世紀型

- 右肩上がりの経済
- これに呼応した原子力のエネルギー利用の拡大
- 原子力の研究開発や原子力発電の開始から、核燃料サイクルの事業化まで
- 東海村は、国主導の下での「原子力センター」

社会的背景の変化

- 地域主義
- 経済至上主義からの脱却
- (真に豊かで持続可能な社会)
- 福島原発事故、これを受けた、国の「脱原発依存」の基本方針

期待と役割

- 原子力に関するサイエンスとくびり等の分野で世界に貢献
- 地域社会と世界の安全・安心のための出来事は何か

第2ステージ 21世紀型

- 地域社会が主体となって提言・行動する原子力とまちづくり
- ⇒ 総合的・持続可能な社会を築き、原子力と地域社会の新しい共存関係や、地域社会と国との新たな友好関係を構築して、各種取組を推進
- 「文化的な価値」や「社会的な価値」の重視 ⇒ 即効的な経済効果は求めない
- 2つのキーワード
- 「東海村らしさ」を活かす
- 国際化・オープン化